



ほえっ♡

ほえっ♡

はぁっ♡

なにか…
間違っ
て…
気が…
する…

おお♡

お♡

おっ…

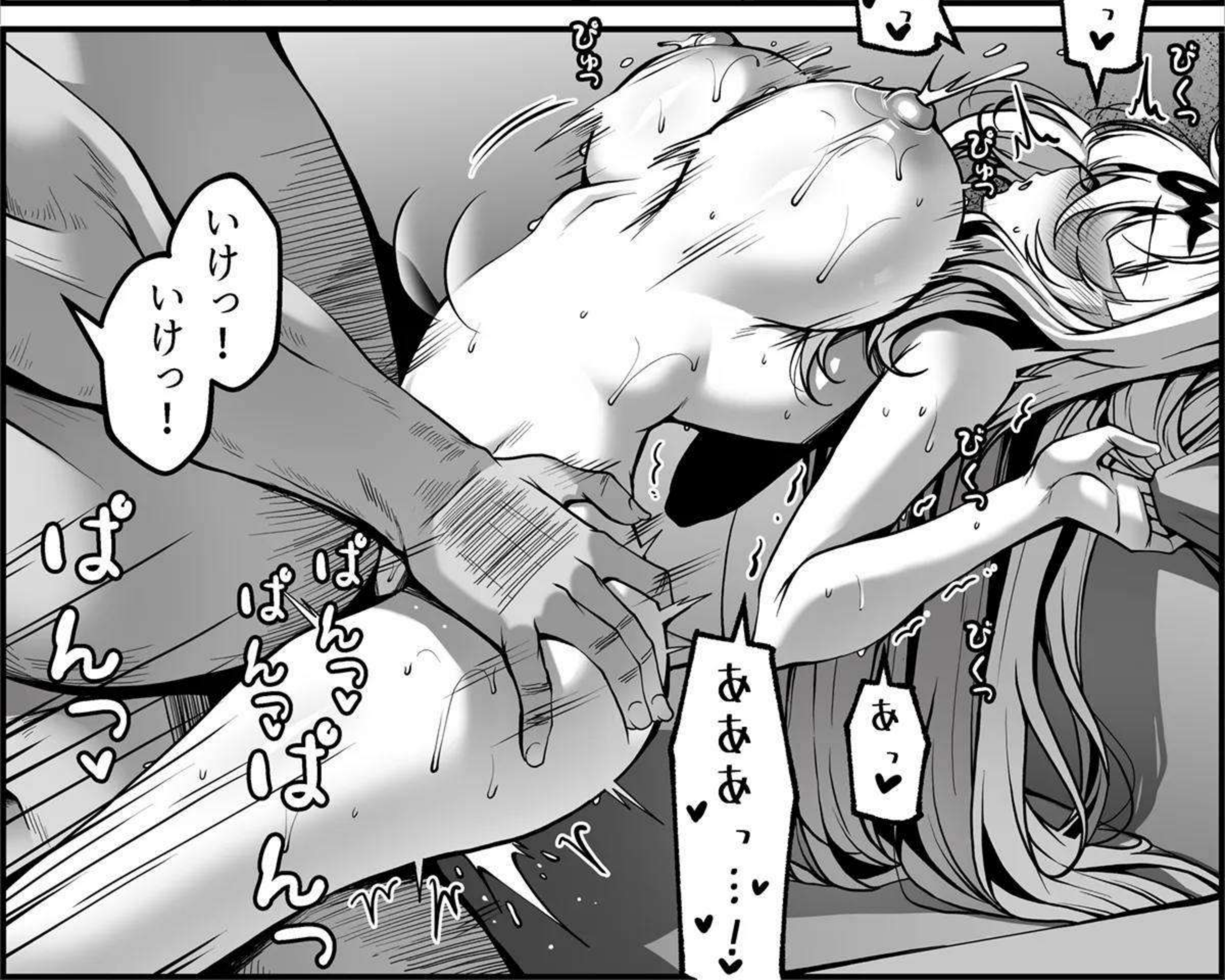
容赦なく
締めつけて
くるな…!!

ぎゅー

ぎゅー

ぎゅー

ぎゅー



びゅん

びゅん

びゅん

びゅん

あああ…♡

あ♡

いけっ!
いけっ!

ぱん♡

ぱん♡
ぱん♡
ぱん♡
ぱん♡
ぱん♡

俺のチンポ、
気に入ったか？

あっ♡

あぁん♡

あぁっ♡

言わなくても
分かるな。

だが、
無駄にしては
もったいないぞ！

うん…♡

あっ♡

あん♡

あぁん♡

あぁん♡



あぁん♡



君の弟子
たちが
この顔を
見たら
どう思うかな。

はあっ

うっ…

もう…
分からない…
何だったのかな…



あんっ

ああんっ

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ

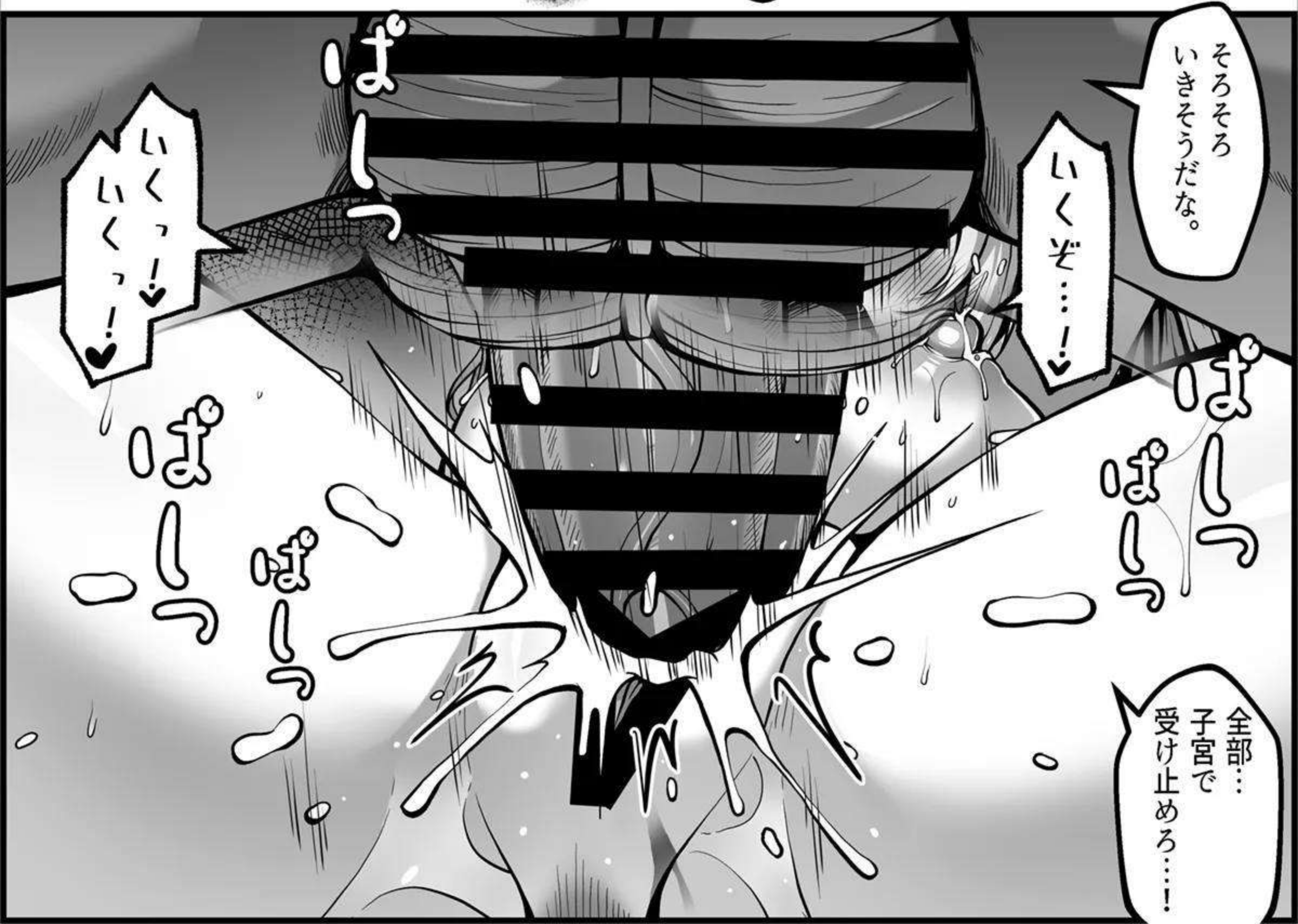
みあんっ

確かに…
間違っ…
いた…
ようだった…
のに…



ははっ!

顔がめっちゃ
くちやだな。



そろそろ
いきそうだな。

いくぞ…!

いくっ!
いくっ!

全部…
子宮で
受け止める…!



はああああ…
最高だ、
君は…

ほえっ…

ちゅっ
ちゅっ

すっ…

ちゅっ

あ、ありが…
とう…すっ

うっ…

ふっん…

うん…
ふ…うん…

うん…

精液が
入ってくる
感覚を…
よく覚え
ておけ…

ぐるん…

ぐるん…

はは、
腰が抜けるほど
気に入ったのか？

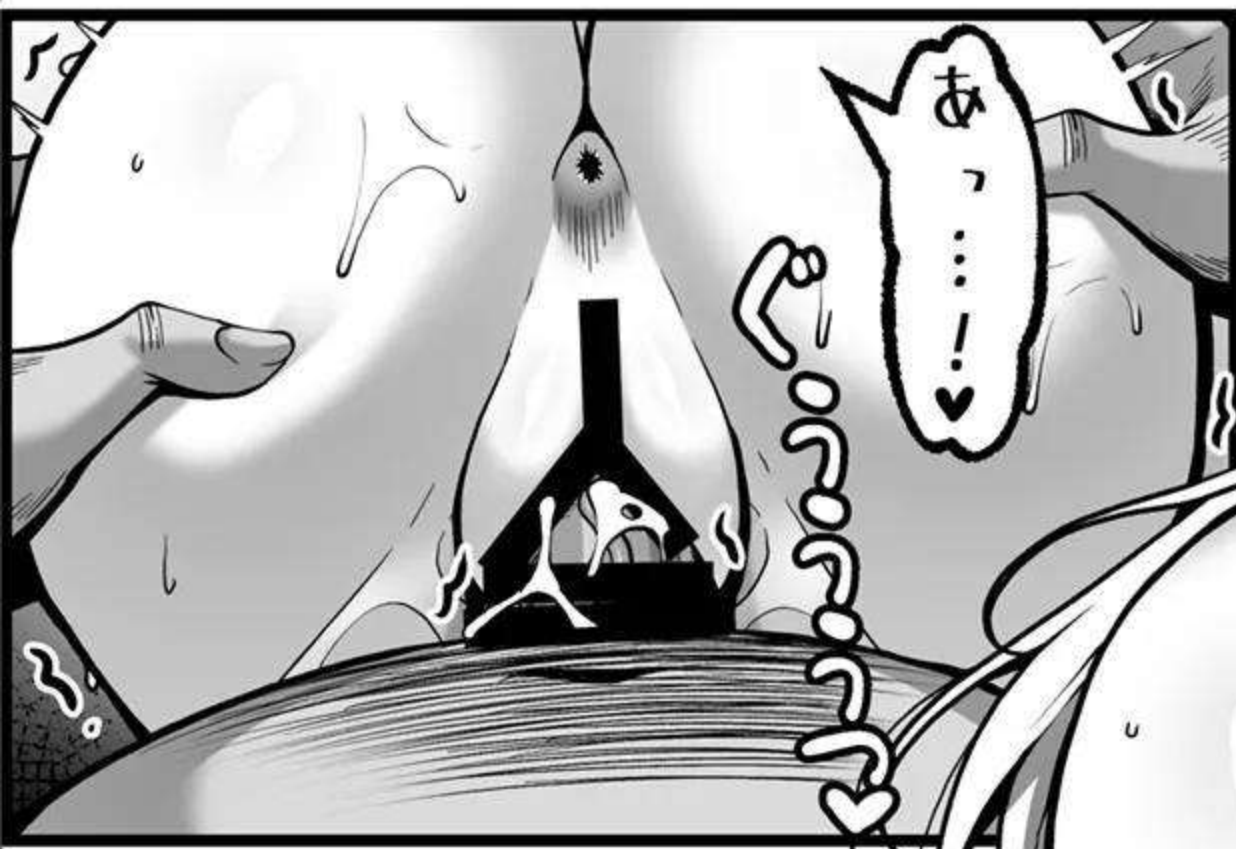
ほっ…

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ふっ…

はっ…





そう、
それでいい。

絶景だ。

これで
三人目だが、
やるたびに
力が湧いてくる。

都市一つを
一瞬で
壊滅させる
ほどの
力を持つ…

ぱんっ♡

あん♡

ぱんっ♡

あん♡
あん♡

ぱんっ♡

政府機関
なんか
舐めて馬鹿に
してる
クソ女どもが

無力に
俺の下で
喘いでいる
姿は…

ああん♡

実に愉快で
高揚感さえ
感じる。

いくぞ…!

ぱんっ♡

あん♡

いくぞ…!
いくぞ…!

ぱんっ♡

ぱんっ♡



いきそうか？

徹底的に
調教してやる。

ふぐっ？

いきながら、
この匂いと味を
しっかり
覚えておけ。

正気の時にも。

チンポの前には
我を失う、

これが、
お前の
主人の
匂いだ。
この匂いと
味も、
魂の奥まで
刻みつけろ。

俺好みの雌に
仕上げてやる。





戦闘力測定、
三日目。

ふう…

測定終了。

第5次データ収集、
完了しました。

お疲れさまでした、
儀玄様。

君こそ。

次の収集まで
調整が
必要だから、

しばらく
待機を
お願いします。

また待機？

申し訳ありません、
儀玄様の
出力が
強すぎて…

はあ…

答えろ、3号。

分かった、
待機しておこう。

はあ…

さっきから
同じこと
ばかり
繰り返して…

時間ばかり
無駄にしてる
気がする…

はっ♡

あっ♡

びゅ♡

何回いった？



5回…

5回…
いきまし…
たあつ…

ふっ♡

5分くらいは
我慢しろと
言ったのに

それすら
耐えられ
ないのか

びく♡

うん…♡

びく♡

びく♡

びく♡

びく♡

びく♡

弟子たちに
手本を見すべきなのに。

ぎゅ

はっ…♡

そんな
我慢の
なさでは…

も、
申し訳…
ありまつ…!!

ぽん♡

あっ♡

あぁ♡

いけないよな？

ぽん♡

ぽん♡

おお♡

うお…♡



